



Walk with Children

めぐろ



せいび

208号
2025年1月

「2025年が、平和の広がる年となりますように。…真の永続的な平和です。真の平和を求めましょう。」

2025年1月1日「世界平和の日」教皇フランシスコのメッセージ

学校長 シスター 小島 理恵

始業の日は、「明けましておめでとうございます！」という子どもたちの元気な声が校内に響き渡りました。一人ひとりが新しい気持ちでスタートを切ったことでしょう。

さて、今年2025年は、カトリック教会にとっては「聖年」と呼ばれる特別な年に当たります。これは旧約聖書の「レビ記」に記されている50年ごとに訪れる恩赦と解放の年に由来し、数千年来、教会の中では大事にされ受け継がれてきた赦しの年、恵みの一年です。

教皇フランシスコは、年の初めに世界平和についてのメッセージを出し、全ての人に向けて平和を訴えられました。「平和の広がる年となりますように。条約の細則の解釈や人間の妥協の場にとどまらない、真の永続的な平和を求めましょう。武装を解いた心に、神が与えてくださる平和を」と。人と人、国同士が互いに赦し合うことなくして、平和の実現は難しいでしょう。

この一年、まずは自分の周りから平和を築いていくことにより、私たちの言動が世界平和実現の一步を担うことができれば素晴らしいと思います。教皇の呼びかけに答え、希望をもって前進してまいりましょう。今年も、どうぞ、よろしく願い致します。

コンネッショナー

Connessione ~つながり~

「Connessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます

キリストの全ての教会があなたがたによろしくと言っています。

ローマの信徒への手紙 16章16節

教頭 細谷 勇太

お正月にご実家に帰省なさった方々の中には、家族で集まり、団欒し、一年間の労をねぎらい、「本年もよろしく願いいたします。」と挨拶をなさった方々も多いのではないのでしょうか。

今年は、創立者ドン・ボスコが帰天の日に、5年生が宗教劇「靴屋のマルティン」を演じます。このお話は、神様が目指していらっしゃるゴールを示しているお話だと思います。私達一人ひとりが天の故郷に帰省を果たした時、神様がこれまでの労をねぎらい、天の国に喜んで迎え入れてくださるゴールです。

聖書の中にも出てくる「よろしく」という言葉は、ヘブライ語では「シャローム」という言葉になります。「シャローム」は、「神様からの平和、神様が与えて下さる平安」という意味です。宗教劇の中で歌われる「シャローム～神様のみ国～」というテーマ曲と共に、5年生の劇を通して、家族のため、周りの方々のため、世界中の人々のために、『神様からの平和、神様が与えて下さる平安』がそれぞれの上に豊かにありますように心を込めて祈り、共に神様の望まれるゴールを考えていけたらと思います。

無原罪の聖母の祝日のミサ 12月10日

サレジオ教会の荘厳な雰囲気のもと、子ども達は、無原罪の聖母の祝日のミサにあずかることができました。マリア様の清い心に倣って9日間の徳の花を実行し、マリア様へのお手紙と共にシンボルである百合の花を代表児童が奉獻しました。たくさんの祈りを捧げることで、クリスマスを迎えるよい心の準備もできました。



クリスマス助け合い運動

昨年12月に、児童会が呼びかけ日々の生活に困っている方々のために食料品や日用品などを集めるクリスマス助け合い運動を行いました。献品の受け取りや種類ごとの仕分けでは、日替わりで各委員会の5・6年生児童も一緒に行いました。保護者のみなさまには、物価高の折、心のこもった献品にご協力いただき感謝申し上げます。いただいた献品は、困っている方々を支えていらっしゃる団体や教会に届けさせていただきました。

困っている方々に思いを寄せて

6年

私は、今年も児童会としてクリスマス助け合い運動に参加しました。クリスマス助け合い運動のための準備を始めた時、私達の活動や思いが困っている方々のためになるという実感はわきませんでした。ですが、目黒星美のみんなからたくさんの心のこもった献品を受け取ったり、児童会のみんなで種類ごとに仕分けをして集計などをしたりする内に、私達は、とても幸せでめぐまれているという事が分かりました。そして、世界だけでなく日本にも食べ物や日用品などを必要としている方がたくさんいる事が分かり、この活動の大切さを感じました。たくさんの献品が目黒星美のみんなの温かい気持ちと共に困っている方々の所に届いてほしいと思います。



委員会の取り組み

健康委員会

6年生からバトンタッチされた5年生は、しっかりと仕事の引継ぎができたようで、日々の活動に自信と責任感が出てきました。小さな活動でもそれが全校児童の健康の向上につながることを信じて、努力することに期待しています。

5年

私たち健康委員会の目標は、みんなが健康に過ごせるように心をこめて活動することです。月に1回、清潔検査をしてハンカチやティッシュを持っているか、つめがしっかり切れているかを確認しています。その他にも、手洗い場の液体石けんを補充したり、手洗い場の雑巾を設置、回収したり、ポスターで健康に関する様々なことを伝えたりしています。これからも学校みんなの健康のために活動していきたいです。



クリスマスの集い 12月20日

聖劇を演じた3年生は、一生懸命練習を重ね、本番を迎えました。毎日欠かさず朝練習に参加し、家に帰ってからでも努力を積み重ねていた子も多くいたようです。当日は、そのような子ども達の努力が様々な場面で表れていたと思います。心を一つに、素敵な聖劇になったと思います。

天使の聖歌隊

リズムを合わせることに特に難しかったです。当日はうまく演奏することができて安心しました。



ナレーター

お客さんに聞こえやすいように、声の速さや大きさを意識して頑張りました。友達同士でアドバイスをしながら上達していくことができたのでよかったです。



役者

その役になりきることや大きな声を出すことがとても大変でした。練習を重ねる中で、それらの大切さに気づき、一生懸命練習しました。



クリスマスミサ

12月24日に、サレジオ教会ではクリスマスイヴのミサが行われました。19時からのミサは、本校の聖歌隊が聖歌歌唱のご奉仕をさせていただきました。教会の2階のパイプオルガンの近くに並び、日頃の練習の成果を心を込めて歌いお捧げしました。また、聖歌隊の卒業生も練習から参加し、一緒に歌うことができました。聖歌隊の中には、小学生だった時に聖歌隊で活動していた人が親になり、親子一緒に聖歌を歌う姿も見られました。インフルエンザなどでお休みしていた隊員の分まで声を響かせて歌うように心がけました。

